



Title	平成10年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 2000, 27, p. 48-49
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/23824">https://hdl.handle.net/11094/23824</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 平成10度事業報告

(財) 大阪癌研究会

## 1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から51名の応募者があつた。

一般学術研究助成選考委員会（委員長 濱岡利之 大阪大学医学部教授他4委員で構成）で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は下記のとおり12名であった。

## 2. 癌シンポジウム・講演会助成について

癌の予防、診断及び治療に関する研究の連絡、提携の促進を図り癌の医療の進歩普及に貢献するために、助成申請のあったものを理事会で慎重に協議、審査の結果下記の6件に助成した。

## 2. がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌25号を刊行し配布した。また、癌の知識の普及活動にあらゆる面から鋭意努力した。

### 平成10年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏名	所属機関	研究テーマ
阪口薰雄	熊本大学医学部	リンパ細胞活性化シグナル伝達機構の解析
松田正	富山医科大学医学部	サイトカインレセプターを介したシグナル伝達系の解析
笹野公伸	東北大学大学院医学研究科	ヒト乳管過形成と非浸潤性乳管癌におけるエストロゲン代謝の検討
赤坂尚司	京都大学大学院医学研究科	悪性リンパ腫の遺伝子診断システムの確立
伊藤浩史	宮崎医科大学	癌細胞が産生するセリンプロテアーゼインヒビター（特にクニック型インヒビター）の生物学的意義の解明
仙道富士郎	山形大学医学部	癌細胞の血管外遊走の修飾を介した癌転移抑制の研究
和田守正	九州大学医学部	がんの薬剤耐性と転移に関与する新しい分子標的
杉山政則	広島大学医学部	ヒト臍ホスホリーパーゼAは、臍癌細胞の浸潤を促進する～その分子メカニズムと治療薬の開発～

氏名	所属機関	研究テーマ
湯通堂満寿男	大阪大学微生物病研究所	新規アポトーシス誘導遺伝子ASYによる細胞がん化機構の解析及びがん診断への応用
坂本康夫	医療法人蒼龍会井上病院	大腸がん検診の精度向上のための新しい試み
佐和弘基	杏林大学医学部	p16癌抑制遺伝子発現による腫瘍細胞の形質変化；マウス移植における病理組織学的、細胞生物学的検討
守山正胤	東京大学医学研究所	びまん性大細胞型Bリンパ腫のPCRを用いた分子診断

### 平成10年度「癌シンポジウム・講演会助成費」助成対象会議

シンポジウム・講演会名	申請者	助成金額	備考
第6回日仏癌会議	田口鐵男・Armand	千円 9,880	
第37回日本癌治療学会総会	佐治重豊・田口鐵男	11,920	
進行腎細胞癌の免疫療法研究会	古武俊彦・田口鐵男	11,400	
第4回アジア臨床腫瘍学会	田口鐵男・Daldyono	520	
第11回日本BRM学会学術集会総会	天野定雄・田口鐵男	7,760	
肝癌術後免疫能研究会	稻垣均・田口鐵男	1,430	
合計		42,910	